

三浦市総合計画市民ワークショップ 開催結果報告書

《目次》

1	市民ワークショップの開催結果概要・・・・・・・・・・	1
(1)	当日のプログラム・・・・・・・・・・	2
(2)	テーマ別の主な意見・・・・・・・・・・	2
(3)	各グループの意見・・・・・・・・・・	4
資 料	・・・・・・・・・・	8

令和7年 8月
三浦市

1 市民ワークショップの開催結果概要

現在、三浦市では、令和8年度から令和17年度を計画期間とする総合計画（基本構想・基本計画）の策定を進めています。

次期総合計画策定にあたっては、「市民によるまちづくり」の視点から、三浦市の将来都市像等について、市民の皆さんのご意見を広く聴取することを目的として、市民アンケート、市民ワークショップ及びパブリックコメントにより、積極的にご意見をいただく機会を設けることとしました。

市民ワークショップは、以下の日程で、幅広い世代、様々な職業の方々と構成するグループに分かれ、テーマごとの取組やアイデアについてのご意見をいただきました。

回	日 時	場 所	参加人数
第1回	令和7年5月31日(土) 9:00～12:00	南下浦町コミュニティセンター 2階多目的室1	Aグループ：7名 Bグループ：7名
第2回	令和7年6月7日(土) 14:00～17:00		Cグループ：7名 Dグループ：8名

今回の市民ワークショップには、市民公募や各分野に精通した様々な職業（学生（小・中・高）、教育・地域活動・スポーツ関係者、農業・漁業・商工業・観光業関係者、福祉・健康関係者、消防団等）の方々、2日間合計で29名の方にご参加いただきました。

どのグループにおいても三浦市をよりよくするための取組やアイデアについて、活発な意見交換が行われ、次期総合計画策定の参考となる貴重なご意見を多数いただきました。

(1) 当日のプログラム

ア 総合計画の趣旨説明

イ 三浦市の現状説明（人口の推移・推計やアンケート調査の結果）

ウ こどもまんなか市民会議の結果概要説明

エ ワークショップ

(ア) テーマ1 10年後、どのような三浦市になってほしいか(三浦市の将来像)

(イ) テーマ2 現在の三浦市の強みと弱み

(ウ) テーマ3 4つの将来像(ひと・まち・しごと・自然)ごとの取組・アイデア

(2) テーマ別の共通意見

ア テーマ1 10年後、どのような三浦市になってほしいか(三浦市の将来像)

(ア) 誰もが安心して暮らせるまち

(イ) 子育てしやすい・子どもにやさしいまち

(ウ) 交通の利便性の向上

(エ) しごとがたくさんあるまち

(オ) 多くの観光客が訪れるまち

(カ) 自然と共存したまち

イ テーマ2 現在の三浦市の強みと弱み

(ア) 【強み】

- a 人のあたたかさ・地域のつながり
- b 第一次産業（農業・漁業）の強さ
- c 自然環境の豊かさ（海・野菜・魚などの資源）

(イ) 【弱み】

- a 医療・出産環境の不足
- b 交通の不便さ（公共交通の不足、道路の整備など）
- c インフラの整備・管理が不足している
- d 農業後継者問題、働き場所が少ない

ウ テーマ3 4つの将来像（ひと・まち・しごと・自然）ごとの取組・アイデア

(ア) ひと（福祉、子育て・教育、健康・医療）

- a 子育て支援、障がい者や高齢者への支援体制の充実
- b 子どもの遊び場や学習環境の整備
- c 未病対策
- d 市立病院の充実、予防医療、医師不足の改善

(イ) まち（コミュニティ・文化、防災・安全、都市基盤・まちづくり）

- a 地域の交流促進
- b 避難訓練などの防災意識の向上と強化
- c バリアフリーや歩道整備、公共インフラの整備

(ウ) しごと（産業振興・観光）

- a 仕事や雇用の創出
- b 地産地消・特産品のブランド化
- c 市民と観光客の交流促進

(エ) 自然（自然・環境）

- a 自然を大切にする
- b 自然の活用、自然体験の提供

(3)各グループの意見

ア Aグループ

(ア) テーマ1 10年後、どのような三浦市になってほしいか(三浦市の将来像)

- a 子育てがしやすくなるまち
- b 安全・安心のまち
- c 交通の便が良いまち、街灯が多いまち
- d 海を活用した海業のまち、観光客がリピーターになってくれるまち
- e 自然を感じる

(イ) テーマ2 現在の三浦市の強みと弱み

- | | |
|---|--|
| <p>a 《強み》</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) 人のつながり、あたたかさ (b) 第1次産業が強い (c) 自然(海・さくら・畑) | <p>b 《弱み》</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) 街灯が少ない (b) 半島の先端という交通不便 (c) 農業後継者問題 (d) 良いところのアピールが弱い |
|---|--|

(ウ) テーマ3 4つの将来像(ひと・まち・しごと・自然)ごとの取組・アイデア

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| a ひと (福祉、子育て・教育、健康・医療) | |
| (a) 安心感、つながり | (b) 遊び場(体験ができる場) |
| (c) 未病 | (d) 医師を充実 |
| b まち (コミュニティ・文化、防災・安全、都市基盤・まちづくり) | |
| (a) 文化伝承 | (b) 防災情報発信 |
| (c) バリアフリー歩道 | (d) 市の良い場所・観光情報発信 |
| c しごと(産業振興・観光) | |
| (a) 農業や漁業の考え方を変える | (b) 地産地消 |
| (c) 市民生活と観光のバランス | |
| d 自然 (自然・環境) | |
| (a) ありのままの自然の魅力 | (b) サンライズ、サンセット |

イ Bグループ

(ア) テーマ1 10年後、どのような三浦市になってほしいか(三浦市の将来像)

- a 子育てがしたくなるまち
- b 年齢関係なく安心できる
- c 公共交通の充実したまち
- d 脱ベッドタウン
- e 景観の美しいまち

(イ) テーマ2 現在の三浦市の強みと弱み

- | | |
|---|--|
| <p>a 《強み》</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) 人と人とのつながりが強い (b) 海洋教育、野外教育 | <p>b 《弱み》</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) 公共交通が不便 (b) 街灯が少ない (c) お店(事業者)が少ない |
|---|--|

(ウ) テーマ3 4つの将来像(ひと・まち・しごと・自然)ごとの取組・アイデア

a ひと (福祉、子育て・教育、健康・医療)

- (a) 福祉を優先順位をつけて無料化
- (b) 小学校の職業体験を増やす(農業・漁業)
- (c) 予防医療を進める
- (d) 市立病院を総合病院に

b まち (コミュニティ・文化、防災・安全、都市基盤・まちづくり)

- (a) 地区の文化のよさを知る、交流できるイベント
- (b) 施設の多くに防犯カメラの設置(子どもの安全)
- (c) 子どもの遊具を公園に増やす

c しごと(産業振興・観光)

- (a) 雇用の場を増やす
- (b) 地産地消を進める
- (c) ブランドの食品をつくる
- (d) 市民と観光客の交流の場をつくる

d 自然 (自然・環境)

- (a) いいところは10年後まで残してほしい
- (b) 波の力によるエネルギー開発

ウ Cグループ

(ア) テーマ1 10年後、どのような三浦市になってほしいか(三浦市の将来像)

- a 未来を感じられるまち
- b 子育てが充実して子どもが生きやすい市
- c 高齢者や子どもが安心して暮らせる(過ごせる)
- d 安心して働ける場所を増やす
- e 自然が整備されたキレイな三浦市

(イ) テーマ2 現在の三浦市の強みと弱み

- | | |
|--|---|
| <p>a 《強み》</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) 地域の繋がりが強い (b) 都心へ一直線(眠って通勤) (c) 食べ物がうまい 野菜・魚類 (d) 自然が豊か (e) 海が近い | <p>b 《弱み》</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) 夜間や休日の診療体制 (b) 市内の交通の便が悪い (c) 子育て・介護している人の家族の働ける場所が無い |
|--|---|

(ウ) テーマ3 4つの将来像(ひと・まち・しごと・自然)ごとの取組・アイデア

a ひと (福祉、子育て・教育、健康・医療)

- (a) 介護用品の補助金
- (b) 農業体験や漁業と子どもが関われる機会
- (c) 未病対策をもっと広げる
- (d) 出産できる病院の整備

b まち (コミュニティ・文化、防災・安全、都市基盤・まちづくり)

- (a) 昔の遊びなど子どもたちに教える
- (b) 災害ボランティアネットワークの普及
- (c) どこに避難するべきなのか明確に分かるとよい
- (d) 交通渋滞解消

c しごと (産業振興・観光)

- (a) 伝統の担い手
- (b) 三浦の特産品を活用した保存食の開発
- (c) 参加型の観光
- (d) 市民の方がまちをガイド

d 自然 (自然・環境)

- (a) 見やすい、ふれやすい整備された自然
- (b) 観光を大事にしつつ、自然を壊さないようにする
- (c) 自然環境を活かした散策路とガイドコース

エ Dグループ

(ア) テーマ1 10年後、どのような三浦市になってほしいか(三浦市の将来像)

- a 三浦市から出たくないと思えるまち
- b 子育てしやすいまち
- c 障がいがあってもなくても安心して暮らせるまち
- d 都心にアクセスしやすい交通
- e 観光客がたくさん来る、しごとがたくさんあるまち

(イ) テーマ2 現在の三浦市の強みと弱み

- | | |
|---|---|
| <p>a 《強み》</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) 人の面倒見が良い (b) 近所付き合いが良い (c) 野菜や海産物が美味しい (d) 城ヶ島など観光スポットがある (e) 夏は涼しく、冬はあたたかい | <p>b 《弱み》</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) 出産する場がない (b) 公園の管理ができていない (c) 交通が不便 (d) 道路の整備(車など) |
|---|---|

(ウ) テーマ3 4つの将来像(ひと・まち・しごと・自然)ごとの取組・アイデア

a ひと (福祉、子育て・教育、健康・医療)

- (a) 障がい者が就職するためのセミナー
- (b) 子どもの居場所(サードプレイス)
- (c) 部活動に対する取組
- (d) 市立病院の充実

b まち (コミュニティ・文化、防災・安全、都市基盤・まちづくり)

- (a) 住民が集まれる場・イベント
- (b) 顔見知りになれる避難訓練の実施
- (c) 交通渋滞が緩和される道づくり
- (d) 上下水道の施設強化

c しごと (産業振興・観光)

- (a) ツールド就活(企業や職場をまわる)
- (b) 大手企業とコラボしたまちづくり
- (c) 畑を生かす
- (d) 市民がすすめる観光地情報(市民参加型)

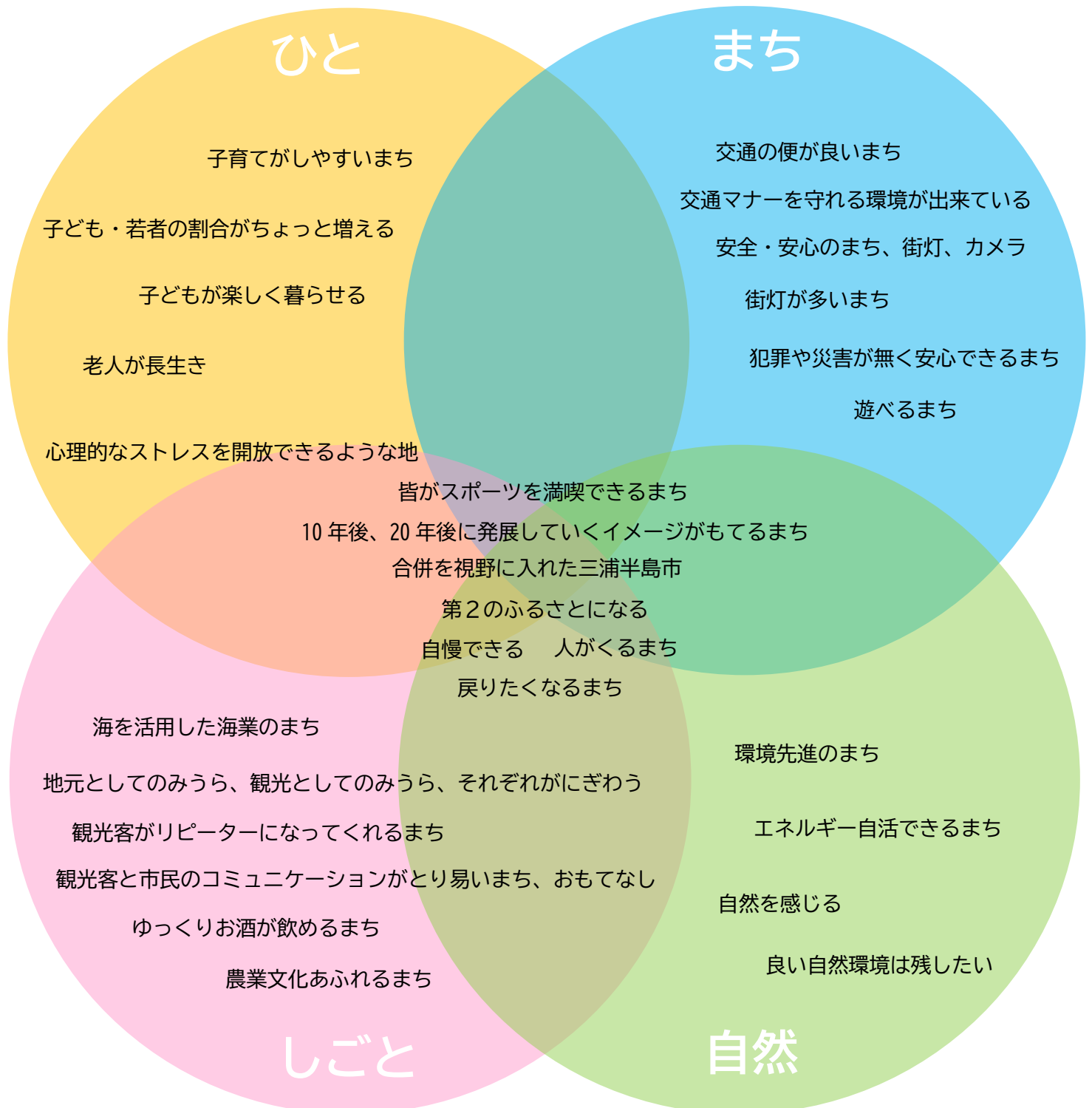
d 自然 (自然・環境)

- (a) 空が広い
- (b) 海水を利用して飲み水にするブランド開発
- (c) 星を見る会

資 料

Aグループ

テーマ1 10年後、どのような三浦市になってほしいか（三浦市の将来像）



テーマ2 現在の三浦市の強みと弱み

《強み》(三浦市のいいところ・自慢できることなど)

人のつながり
人のあたたかさ
お祭り
住人、老人の皆さんのコミュニティ
人との関わり・コミュニティ

「いなか」である

第1次産業が強い

産業

景色の良さ
自然(海、さくら、畑)
どろ遊び 気軽にできる

自然

《弱み》(困っているところ・直してほしいところなど)

交通の便
半島の先端という交通不便
送り迎え、安全に通学できるように
送迎に対する親の負担

交通

下水道インフラ
街灯少ない
災害がこわい、道がない、孤立

インフラ

海など良い所のアピールが弱い
ふれあえる緑、自然の良さがアピールできていない

PR

風力、太陽光を生かしてほしい

環境エネルギー

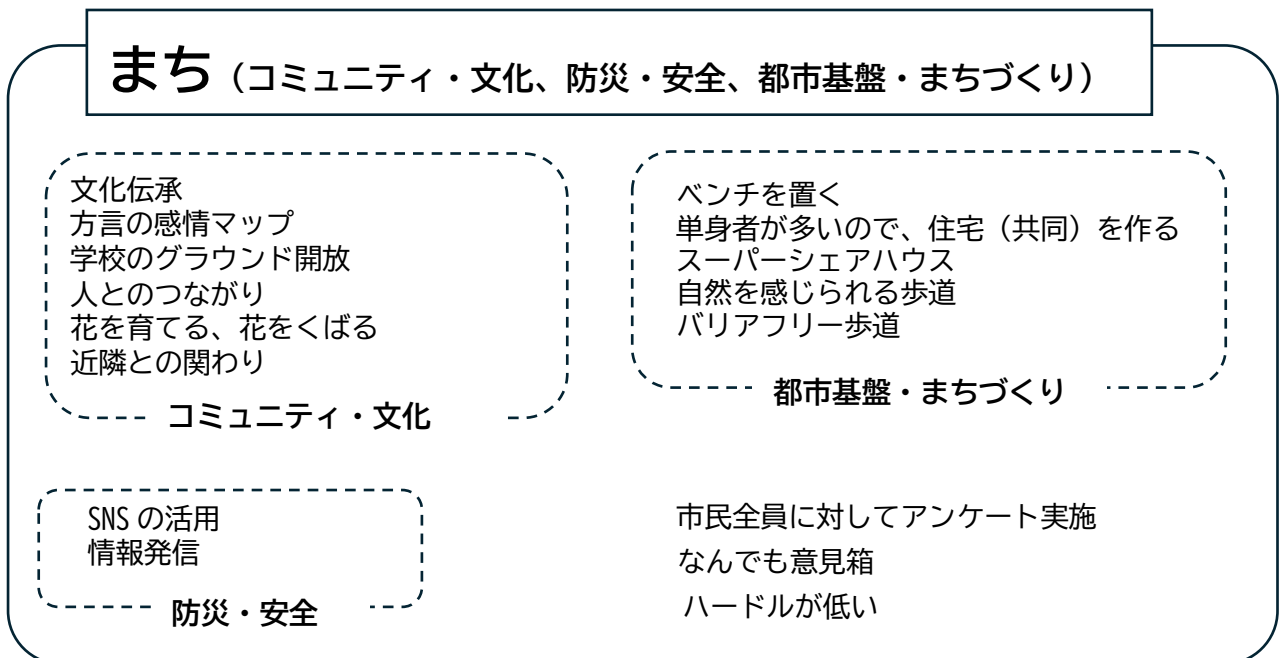
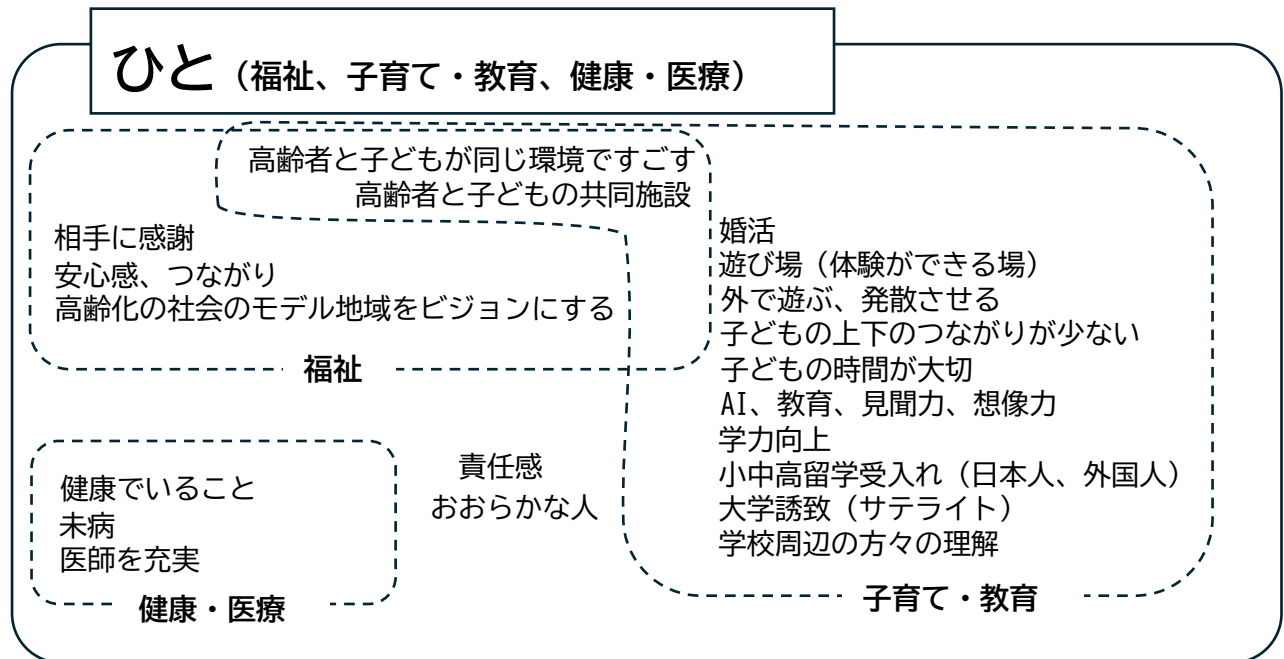
後継者問題
すてられる野菜

農業

生活コストが高い(ガソリン、バス代、インフラ整える、物価)
文化的な面が弱い(アート、事業、ファッション、歴史)
空き家があるのに使えない

生活・文化

テーマ3 4つの将来像（ひと・まち・しごと・自然）ごとの取組・アイデア



しごと（産業振興、観光）

お金を求める仕事ではなく三浦に必要な仕事を
農業の考え方を変える

漁業も！

在宅勤務（完全に）

信用信頼のある物流

無農薬を売りにする

農地のシェア

漁師アカデミー（学校）

産業振興

おみやげで買うもの

船での入り口

地産地消

農泊、漁泊

海のおそびの有料化
（もぐりの遊び）

海底トンネル

観光拠点

足海（足湯的な）

思い出作りの創作活動

市の良い場所・観光情報発信

海やステキな景色を楽しめる設備充実

ロンドンバス

城ヶ島バンジージャンプ

ジップライン

ゲストバース船

回遊バス

市民生活と観光のバランス（反オーバーツーリズム）

砂を洗いながせる（足専用）

星が見える施設

観光客と地元民向け 2重価格（ハーフトップバス）

自然のもの

観光

須坂市との定期バス運用

民泊を復活（須坂市との交流活動のなか）

自然（自然・環境）

サンセット

サンライズ

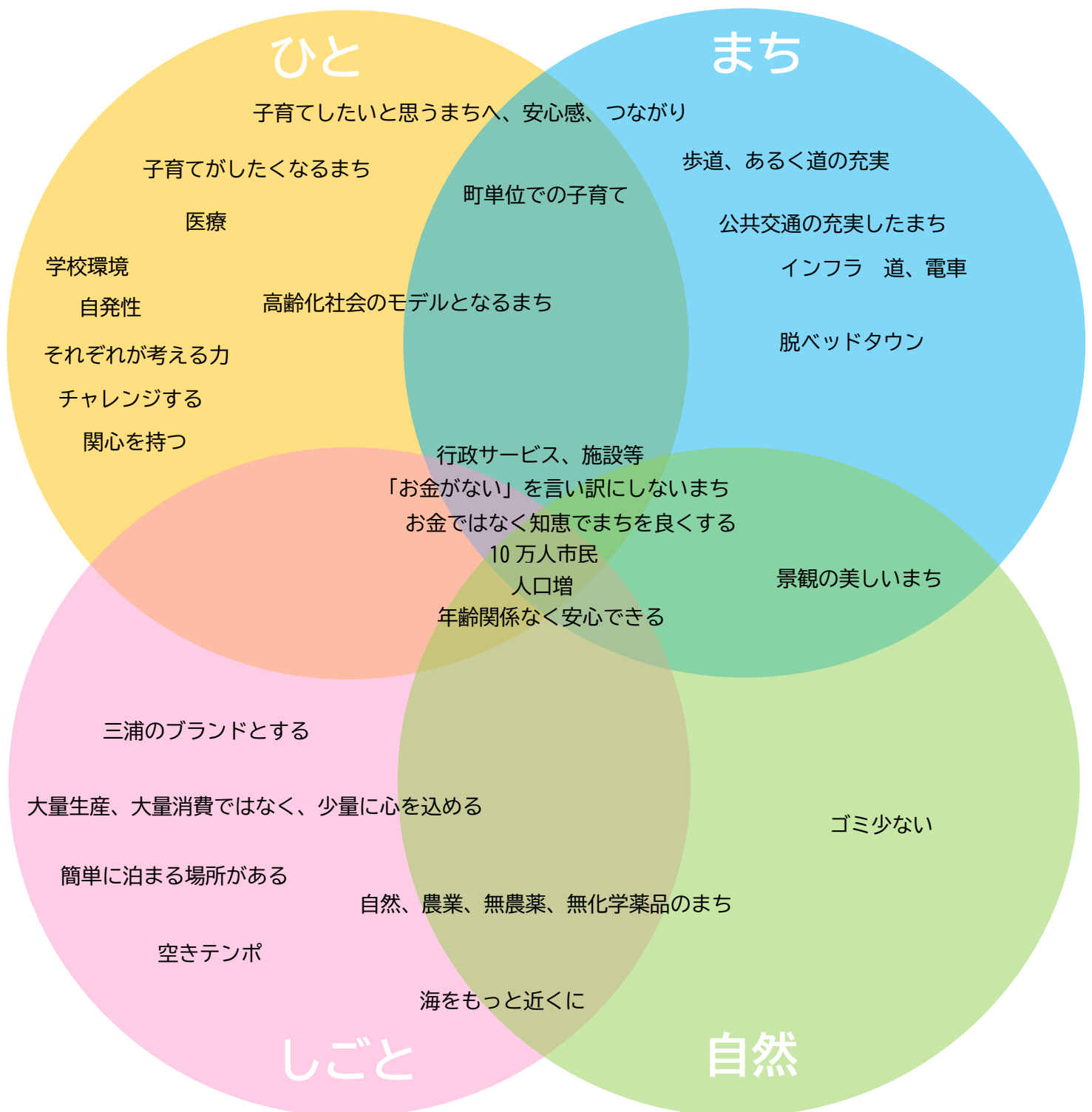
キレイな海を眺める

ありのままの自然の魅力

自然・環境

B グループ

テーマ1 10年後、どのような三浦市になっていてほしいか（三浦市の将来像）



テーマ2 現在の三浦市の強みと弱み

《強み》（三浦市のいいところ・自慢できることなど）

海洋教育
野外活動
野菜収穫体験

体験

お祭りがある
人と人のつながりが強い

文化

新しい住宅が増えている地区もある

住宅

学校はどこの学区に行ってもいい

学校

《弱み》（困っているところ・直してほしいところなど）

生産コストがかかる
自己実現できる仕事がない
仕事の選択肢がない
お店（事業者）が少ない

仕事

街灯が少ない
交通が不便
公共交通が不便
半島先端のため、回遊する道がない
グラウンド整備の状況

インフラ

エアコンない

人がいない
人口減少
家族の人数が少ない（少家族化）
若者が出ていく

人口

移住者が地域に入りづらい
チャレンジする気持ちがない

コミュニティ

流通ルートの多様性

流通

テーマ3 4つの将来像（ひと・まち・しごと・自然）ごとの取組・アイデア

ひと（福祉、子育て・教育、健康・医療）

健康づくりに取り組んでいる人にインセンティブ（商品券）を与える
高齢者の健康遊具を公園に設ける
地域での健康づくりの機会←予防が大切
地域での運動サークルをつくる
予防医療を進める
市立病院を総合病院に！
入院の短縮
病院が絶対良いというイメージの変化
方針、救急代替策のアピール（#7119、#8000、ライドシェア）

健康・医療

行政の役割分担（明確化、可視化、広域化の検討）

福祉を優先順位をつけて無料化

福祉

学校教育でダイビング研修など、市の特性、魅力を生かした教育
小学校の職業体験を増やす（農業、漁業）

子育て・教育

まち（コミュニティ・文化、防災・安全、都市基盤・まちづくり）

地域(区)間が交流できる（スポーツなど）仕掛けがほしい
地区の文化のよさを知る、交流できるイベント
区画の写真展の取組がよい
市でボランティアを募集するバンクをつくる
海南神社、あめや踊りをアピールする

コミュニティ・文化

天体観察も魅力があり、街灯のないところもほしい
空いている畑、花畑とする
子どもの遊具を公園に増やす
海、スポーツ公園をつくる（藤沢市）

都市基盤・まちづくり

散歩（ランニング）する人をとりこんで防犯、わんちゃんのパトロールを行う
施設の多くに防犯カメラを設置する（子どもの安全）

防災・安全

しごと（産業振興、観光）

産業振興

高齢者、子育ての人、時間のきまりがなくみんなが集まって仕事ができる場をつくる
高齢者の雇用の場を増やす（農業関係）
借し農園を進める
小さい店舗（飲食など）がつくりやすくしてほしい
移住者が求める仕事のアンケート調査
空き家をリモートワーカー向けのオフィスをつくる
リモートワークを推進する
漁協の跡地にスポーツ施設をつくる
学校で農家の田畑を借りて農作業をしてもらう
ブランドの食品をつくる
空いている畑、花畑とする

マグロの博物館、魚の専門学校の学生の運営
地産地消を進めるすかなごっその三浦版、マグロ以外の地の魚の売場
城ヶ島漁業組合と海の自然体験のエリアをつくる
剣崎小学校廃校→宿泊施設

市民と観光客の交流の場をつくる
三浦がんしょうの道の整備
海、スポーツ公園をつくる（藤沢市）
サイクリング、ウォークフロントでのスポーツを強化
海を活用する住民に密着した施設（高級なものでなく）

観光

自然（自然・環境）

いいところは10年後まで残してほしい
波の力によるエネルギー開発

自然・環境

Cグループ

テーマ1 10年後、どのような三浦市になっていてほしいか（三浦市の将来像）



テーマ2 現在の三浦市の強みと弱み

《強み》(三浦市のいいところ・自慢できることなど)

気軽な風景がキレイで落ち着く
緑豊か
自然が豊か、キレイ
海が近い

自然

敬老パス
都心へ一直線(眠って通勤)
そこまで困らないアクセス・買物・食事
始発で都会へ行きやすい
時間はかかるけど、首都圏まで直通

アクセス

安全なまち地震・大雨等でも他県に比べて被害が少ない
散歩しやすい

まち

舌がこえている人が多い
野菜がおいしくて安い
食べ物がうまい(野菜・魚類)

食

いざという時に意見が言える
車座になって話し合える場所を作った
いいところマップを作った
自分達の町をなんとかしたいと思っ
ている人達がたくさんいる。
おすそ分けの文化
地域の繋がりが強い
挨拶がしやすい近所との関係性
周りの方が優しい
こども食堂(みうらっこ食堂)

コミュニティ

《弱み》(困っているところ・直してほしいところなど)

移動しづらい
市内の交通の便が悪い
車が無いと不便
スクールバス 中学生が無い 1人歩く
バスが少ない。自家用車が無いと生活しにくい
交通渋滞

交通

夜間や休日の診療体制

医療

三浦市役所

トイレ

後継者不足

子育て・介護している人の家族の働ける場所が無い

仕事

雨の日出づらい(居場所が無い)→スマホ、ゲーム等に
待機児童

子ども

発信力が弱い(若い人は得意だけど)

三浦市に移住を考えている人に対して、三浦の良さを理解したうえで移住を考えてほしい。

PR

テーマ3 4つの将来像（ひと・まち・しごと・自然）ごとの取組・アイデア

ひと（福祉、子育て・教育、健康・医療）

介護用品の補助金(事業所が少ない)
生活保護(DV・ひなん・出産時)
地域の人が活躍できる場

福祉

病児保育と緊急時の延長保育・保育士確保
放課後クラブ 寺子屋
子どもたちの校外活動の受け皿
先生を増やす
子ども電話・悩み相談とか、気楽に話せる場所
親の仕事に子どもが誇りを感じていることのアピール
農業等体験できる催し（学内のイベントで）
農業体験や漁業と子どもが関われる機会
地引き網体験
海業教育を三崎限定にしないで三浦市民の子どもが体験を
探究的な教育をしていきたい→子ども自身が自ら動ける人に
安心できる子どもの居場所を増やす（スクールカウンセラー）
地元でもしっかりした教育を受けられるようにアピールする

子育て・教育

市内に産科病院がない、出産できる病院の整備
小児科の常勤の先生が少ない
救急医療施設がない(市立病院で内科をやってほしい)
女の子が病関係で男性だと言いづらく病院に行きづらい→女性の方を増やす
思春期の女子には女医さんが欲しい
体と心の相談しづらい→気軽に相談できる人を広める
未病対策をもっと広げる
発信力を広げる
SNSで地域のことを発信
緊急の時、テレビ電話で相談できる

健康・医療

まち（コミュニティ・文化、防災・安全、都市基盤・まちづくり）

昔の遊びなど子どもたちに教える

コミュニティ・文化

災害ボランティアネットワークを更に進めてほしい
避難後のケア
圏域ごとのマップを→その活用
どこに避難するべきなのか明確に分かるとよい
実際に避難経路を歩いて確認できるとよい
防災対策として売れなかった商品(農作物)の活用

防災・安全

交通渋滞解消

道、市民が通る所、観光の場の整備
都市基盤・まちづくり

三浦市役所の担当部局の整理
(業務分担)

しごと（産業振興、観光）

産業振興

さかなの学校と連携
三浦の特産品(野菜など)を活用した保存食(防災用)の開発
農水産を大事に ならではの職をもっと広めていく。
伝統の担い手

一極集中にしない
野菜(魚介類)の持ち帰りやすい加工品を観光客に
まちづくりに参加できる
港の方に泊まれる場所 or 駅まで送迎

直売所マップ(コアな)
地元の人間にも役立つ観光情報 (買い物にも役立つ)
誰でもガイドの制度
市民の方がまちをガイド
観光情報を伝えられる観光マップを作る。
観光客を呼ぶだけでなく、観光のマナーも伝える 上質の観光の提案
イベント開催にあたり、受け入れ態勢の整備
参加型の観光
自転車のマナー対策

観光

自然（自然・環境）

見やすい、ふれやすい整備された自然
観光(三浦のアピール)を大事にするなら、整備が必要(自然を壊さないようにしながら)
自然環境を生かした散策路とガイドコース

自然・環境

Dグループ

テーマ1 10年後、どのような三浦市になってほしいか（三浦市の将来像）



テーマ2 現在の三浦市の強みと弱み

《強み》(三浦市のいいところ・自慢できることなど)

徒歩で海に行ける(砂浜)

海がある

活用しようと思えば、活用できる土地がたくさんある

自然 城ヶ島など観光スポットとして

あたたかい

横浜と気温が1~2℃違う (夏は涼しく冬はあたたかい)

自然

野菜、海産物が美味しい

新鮮な野菜が手に入る

野菜がおいしい

魚 釣りたて

食

防災対策◎

防災

子どもが少ないので学校が丁寧に見てくれる

先生の距離が近く伸び伸び過ごせる

姉妹都市交流がある

教育

人が少ない

落ち着いた環境

電車で座って横浜や都内に行ける

キャンプ場がある

住環境

人の面倒見が良い おせっかい

隣の人が親切にしてくれる

子ども同士の繋がり

協力的

昔から住んでいる方が多いので近所づき合いが良い

友達の親との繋がり

地元で働いている人がすぐ協力してくれる

学校に行く時の地域の人とのコミュニケーション

祭りに力を入れている

コミュニティ

《弱み》(困っているところ・直してほしいところなど)

公園の管理ができていない

公園が少ない

暗い

ゴミ箱が無い

住環境

出産する場がない

出産

交通が不便

道路が汚い

道路の整備(車など)

交通

テーマ3 4つの将来像（ひと・まち・しごと・自然）ごとの取組・アイデア

ひと（福祉、子育て・教育、健康・医療）

個性を生かせる教育

多様性を認める学校

中学生の部活動に対しての取組

家に泊まって子育てを教えてくれる人

子どものやりたいことを大事に教師の負担減

部活動以外での練習施設ができると良い

市内で部活動できるように

部活の種類

始業前の学童（働く親）

学童保育の確立（始業前も含む）

駅の近くの一時的預かり施設

子どものお迎え代行サービス

スクールバスの運行

オンラインで授業を受けられる 小・中・高校

子どもの居場所（逃げる場所）

子どもの居場所、過ごす場所（サードプレイス）

子育て・教育

小・中学校での学び直し（年齢を問わず）

小児科・産婦人科などの医療を増やす

地域医療の連携

市立病院の充実

健康・医療

外出を支援してくれる人を増やすセミナー

（ガイドヘルパー）

障がい者が就職するためのセミナー

障がい者を受け入れる（採用する）セミナー

差別がない

子どもから老人まで同じ教育を受ける場

福祉

まち（コミュニティ・文化、防災・安全、都市基盤・まちづくり）

顔知りになれる避難訓練

避難経路の確保（避難経路が危ない）

防犯カメラの充実

防災に強いまち（三浦海岸・津波 避難先）

避難所へ移動する手段

市民全体で防災意識を持つ

なり手不足・周知不足、対策

安全（防犯）→誰も目撃者がいない終わる

防災・安全

住民同士の物々交換（わらしべ長者）

図書館、井戸端ひろば

小さな単位で住民が集まる場 イベント

良い映画を見る映画館

コミュニティ・文化

交通渋滞が緩和される道づくり

道の駅（トイレがある）

自転車走りやすいまち

巡回式コミュニティバスの運行

公園 草刈りルンバの導入

上下水道施設強化を図る

空き家を使ったビジネスをする

ドラマのロケ地に空き家活用

都市基盤・まちづくり

しごと（産業振興、観光）

三浦海岸の駐車場を利用してキッチンカーを集めてイベント集客を行う（特に冬など）
観光業の発展 住民と観光客が共存できるまち

大型施設 グランピング +道の駅

宿泊施設(増)

体験 施設・イベント（増）

海の家

テーマパーク 砂浜も利用する

三崎地区の発展

農業がんばれ

ツールド就活(企業や職場をまわる)

仕事の種類を周知

東側道路の活用

マグロ解体ショーの授業

城ヶ島からのクルージング

三戸・毘沙門の畑を生かす

大手企業とコラボしたまちづくり

三浦市内でキッザニア(選べる仕事)

産業振興

毎月花火大会

自然を活かしたフェス

自然を利用したサバイバルゲーム

海岸でライブ

砂浜を利用した砂祭りなど イベントを行う（ビーチライブ等）

実習体験できる職場

三浦市民 入場無料

観光地スタンプラリー

下町でのスタンプラリー等の行事

三浦市ツアーの企画

観光地の見せる化

市民がすすめる観光地情報(市民参加型)

市民が観光に参加する(日常的に)

市民みんなが観光大使

観光

自然（自然・環境）

海水を利用して飲み水にするブランド開発

自然を利用したドローンスクール

星がキレイ

星を見る会(毘沙門の星空)

空が広い（電線がない）

自然・環境